

第7章 キャリア形成

留学・資格・就職・進学

キャリア形成

「キャリアデザイン」と「キャリア形成支援」

「キャリアデザイン」とは、自分自身の職業人生、キャリアについて、自らが主体となって構想し、実現していくことをいいます。それを支援する大学の取り組みを「キャリア形成支援」といいます。

本学ではキャリアセンターを設置して、全学生を対象に就職支援を主体としたキャリア形成支援を行っています。また、各学部ではそれぞれの専門性を生かした独自のキャリア形成支援を行っており、大学院進学については各学部の教員が随時相談を受け付けています。

キャリア形成・進路決定の流れと支援の概要については、130ページを参照してください。

また、キャリアデザインの一環として、海外留学を志す人は126ページを、教育職員免許状の取得や学芸員資格の取得を目指す人は、128ページを参照してください。

【キャリアセンター】



キャリアセンターでは、学生自らがキャリア（「働くこと」を踏まえた生き方）について考え行動できるように、インターンシップや就職関連情報の提供、就職支援セミナーの実施、企業の採用担当者を招く「大学説明会」の開催など、さまざまなキャリア形成支援を行っています。

キャリアセンターには経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、個別相談、模擬面接やエントリーシートの添削など、一人ひとりに合わせたきめ細かく丁寧な支援を実施しています。

また、「就職支援パートナーシップ制度」を通じて全国各地の10大学と連携した支援も行っています。

書籍や資料も豊富にあって、自由に閲覧できます。いつでも気軽に立ち寄ってください。

- 場 所：講義棟3階
- 利用時間：月～金曜日 8：30～18：00
(休業期間中は、8：30～17：00)
- TEL：直通 082-830-1663
- E-mail：career@m.hiroshima-cu.ac.jp

「キャリアデザインシート」について

124・125ページの「キャリアデザインシート」を活用して、大学卒業後の就職や進学を視野に入れた4年間の学修プランを立ててみましょう。

「将来の目標」、「目標実現のために身に付けた力」、「行動目標」の3項目は、各年次の4月頃に記入します。「成果と課題」は年度末、あるいは新年度の目標立案に合わせて記入します。

大切なことは、定期的に「振り返り」を行い、成果を確認したり、目標を更新したりすることです。疑問を感じたり迷ったりしたときは、各学部の担当教員やキャリアセンターに相談してみましょう。

1年次	
将来の目標	<p>大学卒業後の進路や希望する業界・業種についての目標、あるいは「〇〇な生き方をしたい」という大まかな目標など、今思い描くことができる将来目標を考えて記入しましょう。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語学力を生かした仕事に就きたい ・大学院に進学した後、プログラマーになりたい ・アーティストとして自立したい
目標実現のために身に付けたい力	<p>目標を実現するために、必要になる力は何ですか？</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年次までにTOEIC 900点の英語力を付ける ・C言語によるプログラミングに必要な知識や技法 ・写実的なデッサン力、多様な構成力 ・同世代だけでなくさまざまな人とコミュニケーションを行うことができる能力
行動目標	<p>力を付けるための具体的な行動目標を考えましょう。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語のトレーニングを毎日欠かさない ・授業の予習復習をしっかりとやる ・週に1回は美術館に行って佳作に接する ・自分から積極的にコミュニケーションを図る
成果と課題	<p>1年次の大学生活を振り返り、成果と課題を整理しましょう。</p> <p>※何がどこまでできたのか、何を努力したのか、肯定的な側面をとらえて具体的に記録しておくことを勧めます。 次の目標を定めるときだけでなく、大学生活全体を振り返る時にも役立ちます。</p>

キャリアデザインシート

自分の進路・目標について考え、その実現に向けて充実した大学生活を過ごすために、このシートを活用してください。

	1年次	2年次
将来の目標	<p>大学卒業後の進路や希望する業界・業種についての目標、あるいは「〇〇な生き方をしたい」のような大まかな目標など、今思い描くことができる将来目標を考えて記入しましょう。</p>	<p>将来目標の変更、補足、修正などがあれば記入しましょう。</p>
目標実現のために身に付けたい力	<p>目標を実現するために、必要になる力は何ですか？</p>	<p>目標を実現するために、必要になる力は何ですか？</p>
行動目標	<p>力を付けるための具体的な行動目標を考えましょう。</p>	<p>力を付けるための具体的な行動目標を考えましょう。</p>
成果と課題	<p>1年次の大学生活を振り返り、成果と課題を整理しましょう。</p>	<p>2年次の大学生活を振り返り、成果と課題を整理しましょう。</p>

	3年次	4年次
将来の目標	将来目標の変更、補足、修正などがあれば記入しましょう。	将来目標の変更、補足、修正などがあれば記入しましょう。
目標実現のために身に付けたい力	目標を実現するために、必要になる力は何ですか？	目標を実現するために、必要になる力は何ですか？
行動目標	力を付けるための具体的な行動目標を考えましょう。	力を付けるための具体的な行動目標を考えましょう。
成果と課題	3年次の大学生活を振り返り、成果と課題を整理しましょう。	4年間の大学生活を振り返り、成果と課題を整理しましょう。

留学

海外留学

○ 海外学術交流協定大学への派遣留学

本学では次の大学と学術交流協定を結び、交流・学生交換を推進しています。

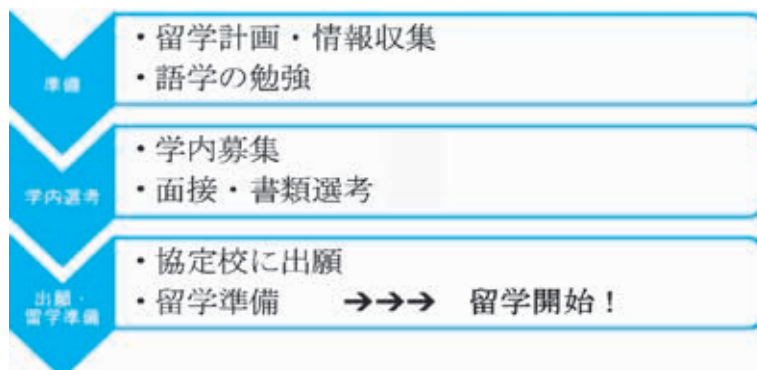
派遣留学は、本学に在籍したまま、半年または1年間留学するもので、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されます。

国	派遣先大学	派遣留学実績人数
ドイツ	ハノーバー専科大学	15
	アラヌス大学	2
	ベルリン・バイセンゼー芸術大学	1
	ベルリン・フンボルト大学	0
	ヴァインガルテン教育大学	3
フランス	オルレアン大学	5
	レンヌ第2大学	4
カナダ	エミリー・カー美術デザイン大学	1
アメリカ	ハワイ大学マノア校	4
マレーシア	マレーシア科学大学	2
韓国	西京大学校	7
	梨花女子大学校	4
	慶北国立大学人文大学	1
中国	西南大学	2
	国際関係学院	3
	上海大学	7

※実績人数は過去3年の合計数です。

○ 派遣留学のフロー

派遣留学の流れは以下のとおりです。学内選考は留学開始の約1年前から始まりますので、それまでには留学計画を立て、語学の勉強に取り組みましょう。



留学相談は、国際交流推進センター（本部棟1階）にお越しください。

- **海外学術交流協定大学への派遣留学助成等**
 学生が海外学術交流協定大学に派遣留学する場合、留学経費の一部助成及び語学力向上のための個別支援を行います。

- ◆ **留学経費の一部助成**

派遣留学に係る渡航費の一部を助成します。詳細は、国際交流推進センター（本部棟・1階）で確認してください。

- ◆ **語学力向上支援**

スカイプを利用した英会話学習への経費助成や学内ランゲージチューターを活用した語学学習など派遣留学前に語学力向上のための個別支援を行います。詳細は、語学センター事務室（図書館・語学センター棟4階）で確認してください。

- **海外短期語学留学プログラム**

語学力を向上させるとともに、主体性、積極性、協調性などを培い、長期留学の促進を図ることを狙いとして、2週間から4週間程度、海外の大学での語学集中講義や歴史・文化研修などを内容とする海外短期語学留学プログラムを実施しています。この留学プログラムには、単位認定する仕組みや、助成金を支給する制度を設けています。詳細は、語学センター事務室で確認してください。

- ◆ **2018年度実績**

ハワイ大学マノア校（英語）	15名
オルレアン大学（フランス語）	9名
モスクワ大学（ロシア語）	8名
西南大学（中国語）	5名

- **海外交流プログラム**

海外の学生との交流やホームステイ等を通じて、国際交流の楽しさを実感するとともに、語学やコミュニケーション能力の重要性を認識することなどを狙いとして、1週間から10日程度、海外に赴くプログラムを実施しています。このプログラムには、参加者に助成金を支給する制度を設けています。詳細は、国際交流推進センターで確認してください。

- ◆ **2018年度実績**

マレーシア交流プログラム	7名
サンフランシスコ交流プログラム	9名
シンガポール交流プログラム	6名

- **私費留学**

海外学術交流協定大学への派遣以外に、留学先大学を自分で探して海外留学することも可能です。留学期間が本学の授業期間と重なる場合には、休学して希望する海外の大学に留学する方法が一般的です。休学して留学する場合でも単位認定は可能ですが、休学した期間是在学期間に含まれないことから、4年間で卒業できません。卒業までのスケジュールを考えて計画を進めてください。休学して留学する場合で、単位認定を希望する場合の手続きについては、教務・研究支援室教務グループ（本部棟・1階）で確認してください。（留学前に申請が必要です。）

HIROSHIMA and PEACE

世界中の学生が広島市立大学に集い「ヒロシマ」と「平和」について学び語り合う夏期集中講座、それがHIROSHIMA and PEACEです。平和をめぐるさまざまな問題について、さまざまな学問分野の視点から、世界各国からの参加者と交流しながら、学び、考えます。また、平和記念資料館の見学、平和記念式典への参列や被爆関係者証言を聞く機会等も提供する、専門的かつ多彩な講座です。講義とディスカッションは全て英語で行われます。



資格

教員を目指す人

教育職員免許状の取得を希望する人は、本学を卒業するために必要な単位を修得し、かつ、教育職員免許法の定めるところにより所定の単位を修得する必要があります。また、教職課程を履修するためには、履修登録の際に毎回教職課程登録届を提出しなければなりません。

1 免許状の種類

本学で取得できる免許状の種類は、次のとおりです。

学部	学科	免許状の種類
国際学部	国際学科	中学校教諭 一種免許状 (英語) 高等学校教諭 一種免許状 (英語)
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科	高等学校教諭 一種免許状 (数学) 高等学校教諭 一種免許状 (情報)
	医用情報科学科	高等学校教諭 一種免許状 (情報)
芸術学部	美術学科 日本画専攻 油絵専攻 彫刻専攻	中学校教諭 一種免許状 (美術) 高等学校教諭 一種免許状 (美術)
	デザイン工芸学科	中学校教諭 一種免許状 (美術) 高等学校教諭 一種免許状 (美術) 高等学校教諭 一種免許状 (工芸)

2 履修科目

「教科及び教科の指導法に関する科目」、「教育の基礎的理解に関する科目等」及び「大学が独自に設定する科目」から合計59単位以上修得するとともに、「教職免許法施行規則第66条の6に定める科目」から所定の単位を修得する必要があります。

詳細については2年次にガイダンス等で説明があります。

科目区分 【参照ページ】	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
①教科及び教科の指導法に関する科目 【69～81ページ】	28単位以上	24単位以上
②教育の基礎的理解に関する科目等 【82ページ】	27単位以上	23単位以上
③大学が独自に設定する科目 (注) 【83ページ】	4単位以上	12単位以上
④教職免許法施行規則第66条の6に定める科目 【83ページ】	法学 (日本国憲法) 2単位ほか	
⑤介護等体験 (7日間)	必要	不要

(注) ①、②で最低必要単位数を超えて修得した単位は、③の大学が独自に設定する科目の単位数に算入することができます。

3 教育実習受講条件

4年次に教育実習を受講するためには、3年次末までに以下の条件を満たす必要があります。

科目区分	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
教科及び教科の指導法に関する科目	実習教科の「教科教育法」を含む18単位以上修得	実習教科の「教科教育法」を含む20単位以上修得
教育の基礎的理解に関する科目等	「教師論」、「教育原理」を含む12単位以上修得	「教師論」、「教育原理」を含む10単位以上修得

4 今後のスケジュール

時期 (年次)	行 事	内 容
1年次(2019年)以降毎年度前期及び後期	教職課程登録届	・履修登録期限までに教務グループへ提出
2020年度後期(2年次)	履修カルテガイダンス	・履修カルテの説明・受取 ※3年次、4年次にも教職科目講義中に適宜ガイダンスが行われる
2021年1月(2年次)	介護等体験ガイダンス①	・介護等体験申込
2021年4月(3年次)	介護等体験ガイダンス②	・申込書、学生個人票の記入 ・体験費用の納入
	教育実習ガイダンス	・外部講師による講演 ・教育実習の内諾申込の方法説明
2021年5月(3年次)	介護等体験合同事前指導	・広島地区大学合同事前指導
2021年7月～8月(3年次)	介護等体験直前指導	・外部講師による講演
2021年5月～8月末(3年次)	教育実習校へ内諾申込	・各自母校を訪問し、教育実習申込
2021年6月～2022年1月(3年次)	介護等体験	・特別支援学校 (2日間) 及び社会福祉施設 (5日間) での介護等体験
2022年4月(4年次)	教育実習事前指導	・教育実習簿の受取 ・教育実習費の納入
2022年5月～(4年次)	教育実習	・2週間又は3週間の教育実習
2022年10月(4年次)	教員免許状申請説明会	・申請方法の説明
	教育実習事後指導	

学芸員を目指す人

本学を卒業するために必要な単位を修得し、かつ、博物館法に定めるところにより所定の単位を修得すれば、学芸員として、美術館等へ採用される資格を取得できます。

学芸員資格取得関係科目については、84ページを参照してください。

○博物館実習受講条件

4年次における「博物館実習」は、学芸員養成課程の最終段階における科目であり、関係科目で学んだ知識・技術や理論を生かして学修するものです。

したがって、「博物館実習」を履修するためには、3年次末までに次の1、2の条件をいずれも満たす必要があります。

(【 】は標準の履修時期です。)

1 下記の必修3科目について、全て単位修得していること。

「生涯学習概論」 2単位 【1年後期】

「博物館教育論」 2単位 【2年前期】

「博物館資料論」 2単位 【2年後期】

2 下記の必修5科目について、全て受講し、6単位以上修得していること。(ただし成績評価が欠席を原因とした「不可」の場合は、受講したと見なされません。)

「博物館概論」 2単位 【3年前期】

「博物館展示論」 2単位 【3年後期】

「博物館経営論」 2単位 【3年後期】

「博物館資料保存論」 2単位 【3年後期】

「博物館情報・メディア論」 2単位 【3年後期】

公務員を目指す人

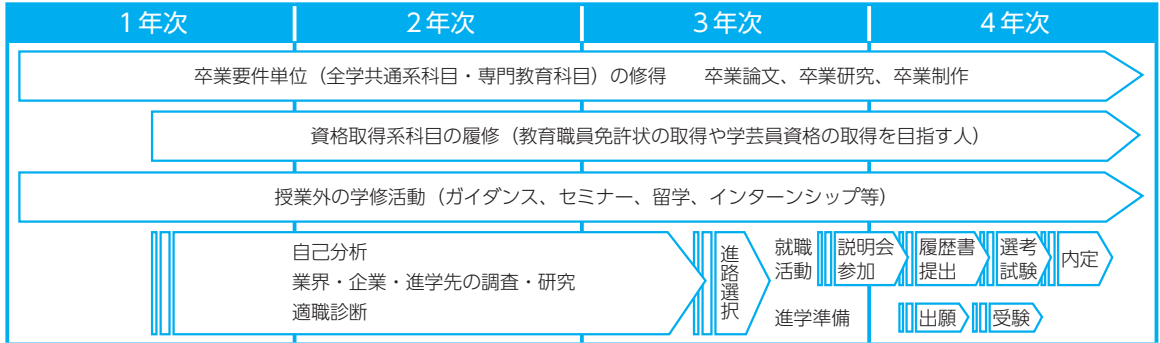
公務員を目指す人には、毎年夏季休暇期間中(9月下旬)に専門教科を中心とした公務員試験対策サマーセミナーを開催しています。

これは公務員試験科目についての講義を5日間集中して実施するものです。

また、国家公務員、地方公務員に関する採用状況や試験についての説明会も開催していますので、興味のある人は早い時期に受講してください。

キャリア形成・進路決定の流れと支援の概要

■キャリア形成と進路決定の流れ



キャリア形成を総合的に支援

■キャリアデザインシート

1年次	2年次	3年次	4年次
目標設定 振り返り	目標設定 振り返り	目標設定 振り返り	目標設定 振り返り

■キャリア形成支援科目の履修例

1年次	2年次	3年次	4年次
【全学共通系科目】 〔後期〕 情報と企業 広島県の産業と 技術 〔第1ターム〕 キャリア デザインⅠ 〔第4ターム〕 キャリア デザインⅡ	〔前期〕 キャリアサポート ベーシックA	〔後期〕 キャリアサポート ベーシックB	
【専門科目】 ※各学部でキャリア形成の視点を取り入れた専門教育科目を実施します。 (例)	国際学部：企業インターンシップ（2～4年次） 学校インターンシップ（2～4年次） 学部派遣海外インターンシップ（2～4年次） 公的機関インターンシップ（2～4年次） 情報科学部：インターンシップ 芸術学部：造形応用研究（2～4年次）		

■授業科目以外の学修活動

1年次～3年次					
第1ターム	第2ターム	夏季休業	第3ターム	第4ターム	春季休業
○公務員試験対策説明会 ○インターンシップ説明会	○インターンシップ事前研修 ○グループディスカッション実践演習	○公務員試験対策セミナー ○インターンシップ	○学部別進路説明会 ○筆記試験対策セミナー ○地元企業経営者パネル討論会	○教員採用試験説明会 ○グループディスカッション実践演習 ○合同企業説明会の“歩き方” ○模擬集団面接実習	○学内合同企業説明会 ○OBOG交流会 ○インターンシップ

※多くの学修活動は学年を問わず参加できます。

インターンシップは、学部別に指定される要件を満たすことで、授業科目の単位として認定されます（芸術学部を除く）。実施時期や内容は変更することがあります。